

宮城県感染症発生動向調査情報(第20週)

宮城県【平成25年05月23日】発行
宮城県保健環境センター
TEL (022)257-7228

- 2013.5.13 ~ 5.19 ・ 第20週 -

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾病	保 健 所								宮 城 県 (含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	仙台市	患者数	累計	第17週	第18週	第19週	第20週
水痘	19 3.80	24 2.40	11 2.20	3 1.50	6 2.00	3 0.60	1 0.50	37 1.42	104 1.79	1,492	○ →	○ →	○ →	◎
流行性耳下腺炎	2 0.40	1 0.10	1 0.20			2 0.40	4 2.00	13 0.50	23 0.40	458	→	→	→	
百日咳	1 0.20								1 0.02	10	→	→	→	
感染性胃腸炎	66 13.20	116 11.60	35 7.00	14 7.00	16 5.33	53 10.60	11 5.50	382 14.69	693 11.95	8,590	◎ →	◎ →	◎ →	◎
手足口病	2 0.40	1 0.10	1 0.20		3 1.00			2 0.08	9 0.16	180	→	→	→	
伝染性紅斑	4 0.80		1 0.20				4 2.00	6 0.23	15 0.26	184	→	→	→	
突発性発しん		3 0.30	1 0.20	3 1.50	2 0.67	4 0.80		21 0.81	34 0.59	656	○ →	レ →	○ →	○
ヘルパンギーナ					1 0.33			2 0.08	3 0.05	21	→	→	→	
インフルエンザ	35 4.38	17 1.13	29 3.63			7 0.88		28 0.67	116 1.25	15,441	◎ →	◎ →	◎ →	◎
咽頭結膜熱		10 1.00		1 0.50	1 0.33	1 0.20		8 0.31	21 0.36	326	→	→	→	
流行性角結膜炎		1 0.33	1 1.00					2 0.33	4 0.33	49	→	→	→	
急性出血性結膜炎			5 5.00						5 0.42	9	→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	32 6.40	24 2.40	8 1.60	3 1.50	7 2.33	26 5.20		48 1.85	148 2.55	2,233	◎ →	◎ →	◎ →	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→	
無菌性髄膜炎											→	→	→	
マイコプラズマ肺炎	1 1.00	3 3.00	4 4.00	1 1.00		1 1.00	5 5.00	4 0.80	19 1.58	387	→	→	→	
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→	
RSウイルス感染症		1 0.10						4 0.15	5 0.09	221	→	→	→	
拡張疾病	1 1.00	3 3.00		4 4.00		2 2.00	1 1.00	3 0.75						
川崎病								1 1.00						
不明発疹症								2 2.00						

今週の全数報告疾病

*男児、女児は6歳未満

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 結核
 - 登米管内 男性1名(第17週)
 - 仙台南管内 女性1名(第19週)、女性1名
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O157)
 - 仙台南管内 女性2名(関連)
- 4類感染症: つつが虫病
 - 仙台南管内 男性1名
- 5類感染症: ウイルス性肝炎
 - 仙台南管内 女性1名
 - クロイツフェルト・ヤコブ病
 - 仙台南管内 女性1名
 - 梅毒
 - 仙台南管内 男性1名(第16週)
 - 風しん
 - 塩釜管内 男性1名(検査診断例)
 - 石巻管内 男性1名(検査診断例)
 - 仙台南管内 男性2名(検査診断例)、女性1名(臨床診断例)

今週のインフルエンザによる入院患者報告 (仙台市を含む基幹定点報告) 2例

今週の感染症のコメント - 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 -

- [伝染性紅斑] 気仙沼管内で警報値を超えた。
- [急性出血性結膜炎] 大崎管内で警報値を超えた。
- [風しん] 全国的な傾向と同様に、県内でも20歳代~30歳代の男性の報告例が多い。今後もさらに流行の拡大が懸念されるので注意が必要である。

【病原体検出情報】

~保健環境センター~
感染性胃腸炎患者より
塩釜管内 第18週採取分 ロタウイルス遺伝子 1件

~仙台医療センターウイルスセンター~

	第18週採取分 (4.28~5.5)	第19週採取分 (5.6~5.12)	第20週採取分 (5.13~5.19)
RSウイルス	0件	2件	5件
Aデングウイルス	3件	2件	1件
サイトメガロウイルス	1件	0件	0件

[つつが虫病]

仙台南管内において、今年度初めてのつつが虫病患者の発生があった。つつが虫病は、ダニの一種であるツツガムシに刺されることによるリケッチア症で、主な症状は高熱、発疹、リンパ節の腫脹や時に肝臓機能異常などが見られる。春から初夏、秋から初冬にかけて山林、河原などで感染することが多いので、これらの場所では素肌を出さないようにするなどの予防策が重要である。

インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢別割合)

報告週	0~4歳 (%)	5~9歳 (%)	10~14歳 (%)	15~19歳 (%)	20~29歳 (%)	30~39歳 (%)	40~49歳 (%)	50~59歳 (%)	60~69歳 (%)	70~79歳 (%)	80歳~ (%)	総数 (人)
2013年 第16週	11.6	25.9	30.2	9.5	2.1	3.2	6.3	4.8	2.1	2.6	1.6	189
第17週	23.5	30.9	22.6	5.1	1.4	3.7	4.6	3.7	0.5	2.3	1.8	217
第18週	27.7	29.5	20.5	5.4	4.5	7.1	0.9	0.9	0.9	0.0	2.7	112
第19週	18.9	24.4	27.6	3.1	3.9	8.7	4.7	2.4	1.6	3.1	1.6	127
第20週	19.8	38.8	17.2	1.7	6.0	5.2	4.3	0.9	2.6	2.6	0.9	116

インフルエンザ定点は、内科定点と小児科定点を合わせたもので、県全体で93定点です。宮城県:51定点 仙台市:42定点 合 計:93定点

定点把握の対象となる5類感染症(全国 2013年第17, 18週合併) (国立感染症研究所感染症情報センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は減少した。都道府県別では宮崎県(6.56)、大分県(5.86)、福岡県(5.20)が多い。**RSウイルス感染症:** 報告数は374例と3週連続で減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約81%を占めている。**咽頭結膜熱:** 定点当たり報告数は減少した。佐賀県(1.26)、鹿児島県(0.89)、大分県(0.67)が多い。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎:** 定点当たり報告数は減少した。石川県(3.52)、山形県(2.86)、福井県(2.82)が多い。**感染性胃腸炎:** 定点当たり報告数は減少した。大分県(16.97)、岡山県(11.78)、新潟県(10.93)が多い。**水痘:** 定点当たり報告数は減少した。沖縄県(2.97)、宮崎県(2.22)、島根県(2.04)が多い。**手足口病:** 定点当たり報告数は減少した。沖縄県(3.88)、島根県(3.43)、福岡県(2.27)が多い。**伝染性紅斑:** 定点当たり報告数は2週連続で減少した。富山県(0.55)、東京都(0.14)、愛媛県(0.14)が多い。**ヘルパンギーナ:** 定点当たり報告数は減少した。佐賀県(1.00)、沖縄県(0.47)、山口県(0.36)が多い。**流行性耳下腺炎:** 定点当たり報告数は2週連続で減少した。福井県(0.86)、秋田県(0.69)、福島県(0.56)が多い。**マイコプラズマ肺炎:** 定点当たり報告数は減少した。石川県(1.80)、沖縄県(1.71)、長野県(1.45)が多い。